

大阪府立布施北高等学校学校運営協議会議事録

校名	大阪府立布施北高等学校
校長名	冨本 佳照

開催日時	令和6年7月13日(土) 9:30~11:30
開催場所	大阪府立布施北高等学校 展開1教室
出席者(委員)	松下 寛史((会長)、菊地 栄治(委員)、塚本 佳秀(委員) 浅岡 美和(委員)、棟久 香澄(委員)
欠席者(委員)	藤田 剛(副会長)
出席者(学校)	校長、事務長、教頭2名、首席1名、教諭1名
協議資料	・大阪府立布施北高等学校 学校運営協議会 実施要項 ・令和5・6年度 学校経営計画及び学校評価 ・布施北高校 スクールミッション・スクールポリシー ・議事テーマ説明用資料

議題等(次第順)

- (1)開会 校長挨拶
- (2)委員の紹介
- (3)出席者の紹介
- (4)会長・副会長の指名
- (5)『布施北高校 スクールミッション・スクールポリシー』の確認
- (6)令和5年度・6年度 学校経営計画及び学校評価
- (7)「定員割れについて考える ～選ばれる学校をめざして～」
- (8) 令和7年度使用予定教科書の選定に関して

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1)開会 校長挨拶
 - ・ 布施北高校は「地域との繋がりを基盤としたキャリア教育」・「人権教育の推進」・「多文化共生教育の推進」など特徴的な取り組みを行っている学校である。生徒の授業・学校行事に取り組む姿勢はしっかりとしている。6月の体育大会では3年生がリーダーシップをよく発揮しており、後輩たちの模範となる姿をみせてくれた。布施北高校では生徒と教員がそれぞれにまじめに取り組みを積み重ねて学校を作り上げていると実感している。3年生は卒業後の進路実現に向けた取り組みが本格化している。表情に生徒たちの真剣さが表れてきている。学校の運営は生徒と教員だけでなく保護者をはじめ地域の方々やたくさんの専門人材など多くの方々の力で成り立っている。本日はよろしく願いいたします。
- (2)委員の紹介
 - ・学校運営協議会についての概要説明及び各委員の自己紹介を行った。
- (3)出席者の紹介
 - ・ 各教員が自己紹介を行った。
- (4) 会長・副会長の指名
 - ・ 会長(松下寛史 委員)、副会長(藤田剛 委員)を選出。

(5)『布施北高校 スクールミッション・ポリシー』の確認

《学校より》

- ・ 学校運営協議会でも議論いただいて一昨年完成した「スクールミッション」はこの東大阪の地で布施北高校に課せられた役割を示しており、設置者である大阪府の意思と地域の思いを反映したものである。
- ・ 昨年作成した「スクールポリシー」が今年公表された。「グラデュエーションポリシー」「カリキュラムポリシー」「アドミッションポリシー」の3つのポリシーについて、あらためて確認したい。(内容について説明)
- ・ 「グラデュエーションポリシー」は本校が育てようとする生徒像を示したものである。
- ・ 「カリキュラムポリシー」は「グラデュエーションポリシー」を達成するために本校がどのような教育を行うかを示したものである。
- ・ 「アドミッションポリシー」は本校に入学を希望する中学生にこのような志を持って来てほしいと期待する人物像を示したものである。

《委員より》

- ・ 保護者として学校説明会に参加したときに、スクールミッションやポリシーの説明を聞いたが、詳しくは知らなかった。子どもが教育・保育分野でのインターンシップを経験したことをきっかけに、2年生でもデュアル実習を選択した。子どもは毎回の実習をとっても楽しみにしており多くのことを学んでいる。このような取組みと密接に関わり、その中身を示している布施北高校のスクールミッションやポリシーをより広く宣伝してほしいと思う。SNSなどの活用も効果的であると思う。
- ・ 布施北高校のミッション・ポリシーはこれまで布施北高校が取り組んできたことを可視化したものである。これらを通じて生徒自身が布施北高校でどのように成長したいかを考える機会を持つことも必要であると考えます。
- ・ 会社の経営理念を社員が確認するように、学校も教職員がミッション・ポリシーを確認する機会が増えるよう、掲示するなどの工夫があってもよいのではないかと。
- ・ 非常にわかりやすい説明であった。本校の魅力を打ち出すために「布施北で学べてよかった」という実際の生徒の声をホームページで発信するのも良いのではないかと。
- ・ スクールミッションやスクールポリシーを地域全体に知ってもらうことが重要である。

《学校より》

- ・ スクールミッションやスクールポリシーは、地域に学校が何をめざし、何に取り組んでいるかを広く示すために作られたものである。学校の広報において、スクールミッションやスクールポリシーを前面に出せるよう工夫していきたい。

(6)令和5・6年度 学校経営計画及び学校評価

《学校より》

- ・ 基本的には昨年度からの流れを引き継いだ計画になっている。その中でも次の4点を意識して取組みを進める。
 - ① 不登校経験のある生徒、日本語指導が必要な生徒に対する学習支援や進路支援の充実。
 - ② いじめ対策委員会を中心に、いじめを早期に発見し、迅速かつ適切な対応を行うこと。
 - ③ 学校のホームページやブログを利用し、本校の取組みについて広報を進めること。
 - ④ 引き続き教員の働き方改革に努めること。

《委員より》

- ・ 中学校では、学校のブログを見てくれている保護者がいることを実感している。学校が情報発信をまめに行くと、学校での生徒の様子や学校での指導方針がよく伝わり、保護者の安心感に繋がるメリットがある。学校への批判的な問合せが減る効果も実際にある。
- ・ いじめ問題について、外国にルーツのある生徒に対する偏見や差別事象が起こらないよう、気を付けてほしい。
- ・ 布施北高校に通っている子どもの話を聞いていると、外国にルーツのある生徒を特別扱いすることなく、クラスの雰囲気は非常に良いと感じる。様々な価値観に触れ、多文化理解が進むことは、社会に出てもきっと役立つと思う。

(7)「定員割れについて考える ～選ばれる学校をめざして～」

《学校より》

- ・ 大阪府の教育をめぐる動向について学校教育審議会の資料等を用いて説明。
- ・ 中学生の進路希望において、通信制高校への進学を希望する生徒が増加している。
- ・ 不登校や支援の必要な生徒が増加している。生徒のニーズにあわせて柔軟に学べる高校の在り方が必要だと言われている。本校でも、遠隔授業や単位認定に関する規定の整備を検討し対応を準備していく必要がある。
- ・ 日本語指導の必要な生徒の数が増加するとともに、その言語も多様化しており、より対応が求められるようになっている。

《委員より》

- ・ 定員が割れていても、学校統廃合の対象にならないくらい特色や魅力のある学校であることが大切。
- ・ 企業でも外国人の雇用は増加している。デュアル実習先で活躍する社員と実習に来る生徒の母国が同じであれば双方にメリットがあるはず。実習先を決定する際に考慮しても良いのではないか。
- ・ 中学校では、起立性調節障がいの子供等が増加しており、学校に行きたくてもいけない生徒が多数いる。本人のやりたい気持ちを応援できるように支援している。府立学校には定時制高校もあるが、数が少なく、地域から通学するのが難しい。「布施北はこういう学校だ」、「布施北はこういう高校生活を送れる学校だ」、という広報、アピールを継続して行ってほしい。
- ・ 小学生、中学生はSNS(Instagram、TikTok)を利用している。学校の広報も SNS を利用してはどうか。学校の内容確認を前提として、生徒が発信するスタイルを考えてもよいのではないか。
- ・ 通信制の高校を希望する中学生が増えてきているとのことだが、「全日制の学校に通うこと」にも大きな意味があると思うし「メリット」があるはず。そのためにも布施北の魅力を発信してほしい。
- ・ 他校のPTAとPTA協議会総会で交流した際、他校のPTAの活動では体育祭で給水所の運営、文化祭で模擬店の出店等、様々な活動をしていると聞いた。本校 PTA も協力させていただき学校を盛り上げていきたい。
- ・ 外国にルーツのある生徒もデュアル実習に参加し、就職する、という流れがすでにできている布施北のデュアルシステムは新たな価値を持っていると言える。今後の社会の動向にも対応できるのではないか。
- ・ 東大阪は日本で最も多くの、そして個々に独立した中小企業が立ち並ぶ稀有な地域であり、企業間でのつながりが非常に強い。実習についても何もかも先生が面倒を見なければと思わず、安心して事業所にデュアル実習生を預けてほしい。デュアル実習先は保護者・学校とは違う角度から生徒と関わることができ、生徒が相談できる場所としての役割も大きい。学校側もいろいろと忙しく、卒業生のその後についてまで進路調査が十分できていないように感じる。求人と切り離して行っていた高校生対象の「仕事説明会」を学校側のニーズが弱まって中止していたが、また再開できればと思っている。

(7) 6月に行われた地域学校協働本部の報告

- ・ 各学年の実習の実施状況の共有を行い、デュアル実習の教員付き添いの在り方等についてご提案やご意見をいただいた。本校のデュアルシステムについての前向きな議論が行えたことを報告した。

(8) 令和7年度使用教科用図書の採択について

- ・ 図書を実際に見ていただき、ご承認いただいた。

次回の会議日程	
日時	令和6年11月頃を予定（授業見学含む）
会場	大阪府立布施北高等学校